

## 恵那市議会委員会行政視察報告書

1. 委員会名 福祉環境委員会
2. 視察年月日 平成28年7月13日から平成28年7月15日まで3日間
3. 視察委員名 橋本 平紀、西尾 努、遠山 信子、畑村 眞吾、堀井 文博  
荒田 雅晴、堀 光明
4. 随行者 議会事務局書記 加藤 弘江
5. 視察地及び視察事項の概要

月 日	視 察 地	視察事項の概要
7月13日	山梨県南アルプス市 健康福祉センター 【五感に訴える ユニバーサルデザインを取り入れた複合施設】	別紙のとおり
7月14日	東京都江戸川区 区立南小岩第二小学校 【すくすくスクール及び学童クラブ】	
7月15日	千葉県浦安市役所、東京ベイ・浦安市川医療センター 【産後ケア及び病院概要】	

上記のとおり報告します。

平成28年9月1日

恵那市議会福祉環境委員会

委員長 橋本平紀

恵那市議会議長 堀 光明 様

# 福祉環境委員会行政視察報告

福祉環境委員会は、恵那市における検討課題の調査研究のため、下記先進地の取り組み事例を行政視察したので、その内容を報告します。

## 1. 「五感に訴えるユニバーサルデザインを取り入れた複合施設」

山梨県南アルプス市 健康福祉センター（愛称：かがやきセンター）

### 1) 視察の目的

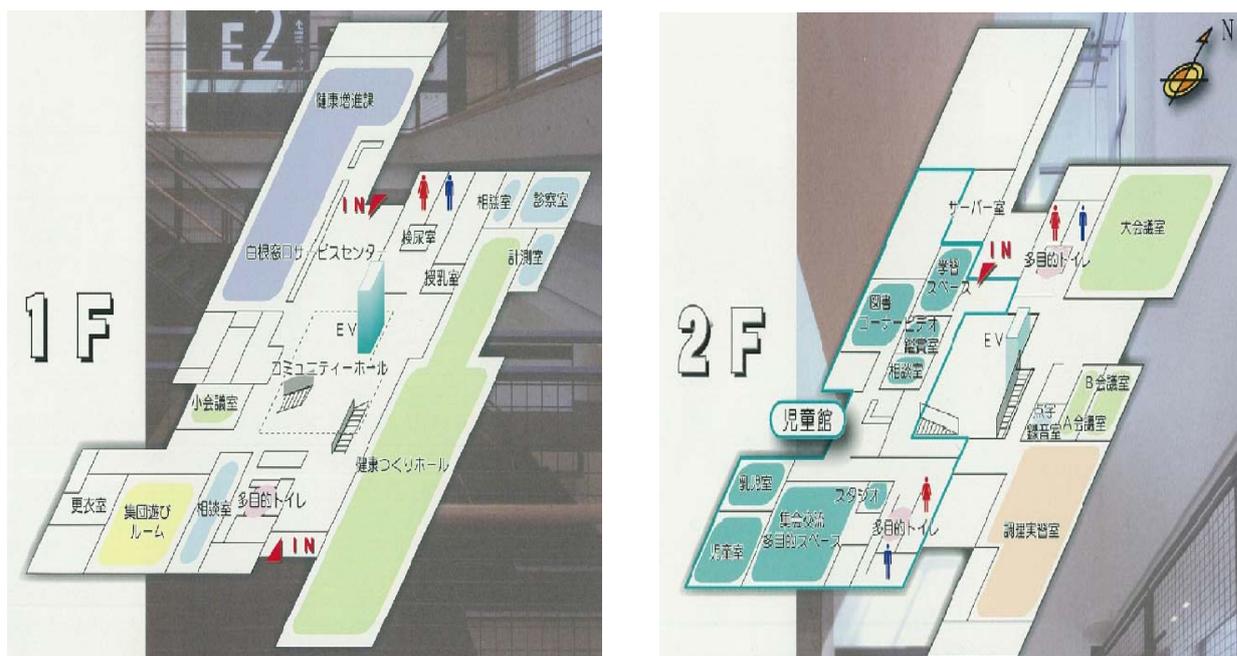
福祉・医療・子育て支援の機能に行政窓口を併せ持つ複合型施設であり、誰もが使いやすい「ユニバーサルデザイン」をいち早く取り入れた内容を精査しました。

### 2) 調査事項・概要

健康福祉センター（愛称：かがやきセンター）は保健部門と福祉部門が連携をとり、南アルプス市の「健康増進計画」「地域福祉計画」等を基本理念とした施設となっています。

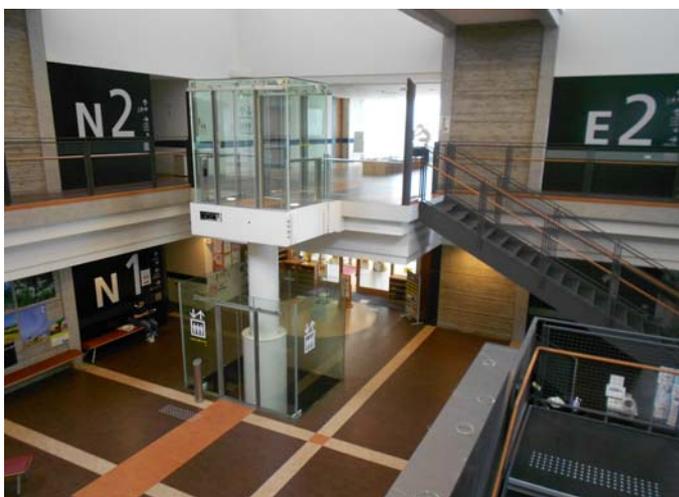
子どもからお年寄りまで、すべての市民が生涯を通していきいきと暮らせることが出来るよう、保健・医療や福祉に関するサービスや情報を提供する場、児童を対象とした子育て支援の場として、また行政機能を有した市民のふれあいの場を目的としています。

1階に各種健診の診察室、健診ホール、行政機能として白根窓口サービスセンター、健康増進課を設置し、2階には児童館、170人収容可能な大会議室、点字録音室、調理実習室などを備えています。



健康福祉センターフロアマップ

この施設は、市民すべての方が利用しやすいようユニバーサルデザインを採用しています。廊下部分の天井高に変化を付け、床の仕上げを変えることで高さや材質により反響音に変化する工夫や、ホールの壁面に方向と階数を示したサインを設置して、自分の位置を確認しやすくするための配慮、また、中央に設置したウォークスルーエレベーターはどこからもよく見え、入口と出口のドアを別にすることで車椅子を回転することなく乗降できる等、視覚・聴覚・触覚といった五感で感じられるマルチ機能を取り入れています。



コミュニティホール中央ガラス貼りの  
ウォークスルーエレベーター



コミュニティホールのライト

併設された児童館には、乳児室・多目的スペース・学習室・図書コーナー・ビデオ鑑賞室・スタジオ等、小さな子どもから高校生までの居場所があり、専任の職員も常駐し、保護者が迎えに来るまで、勉強したり遊んだり安心して過ごすことができます。



図書コーナー



多目的スペース

### 3) まとめ

健康福祉センター（愛称：かがやきセンター）は、幅広い年齢層に利用されており、誰もが利用しやすいため、子どもをもつ親には児童館の併設が、高齢者には段差の少ない構造が喜ばれていて、非常に利用ニーズの高い施設であると実感しました。

## 2. 「すくすくスクール及び学童クラブ」

東京都江戸川区 南小岩第二小学校

### 1) 視察の目的

小学校の放課後や学校休業日に、校庭・体育館などの学校施設を利用して、児童がのびのびと活動する「すくすくスクール」と「学童クラブ」の運営状況を検分しました。

### 2) 調査事項・概要

「すくすくスクール」は区内在住の全小学生が登録できます。区の職員が常駐し、地域のボランティアの方々が講師となり、長年培った知識や経験を生かして運営に協力してみえます。

#### 「すくすくスクール」運営体制

- クラブマネージャー：すくすくスクールの代表的な立場で、学校や地域との総合的な調整を担当する。
- サブマネージャー：児童の安全管理や育成指導、学童クラブの保護機能、その他庶務的事項を担当する。(常勤・非常勤職員)
- プレイングパートナー：児童の見守りなど活動の補助的業務を担当する。(臨時職員)
- サポートセンター：地域教育の代表者として、子どもたちの関わり方を考え実行する支援組織。PTAや町会・自治会等の地域ボランティアにより構成されている。

授業が終わると学校の空き教室に移動して宿題をしたり、体育館を使つての遊び等、それぞれ自由に活動します。



平日のすくすくスクールの様子

また、学校休業日には、地域の人たちが講師を務める体験活動等にも参加できます。

スポーツ活動・・・サッカー、ラクロス、カヌー体験、卓球など

文化活動・・・和太鼓、日本舞踊、茶道、書道など

日本の伝統文化・・・昔遊び、餅つきなど



体験活動の様子

遊びや学び・集団生活・多くの人とのふれあいを通じて視野を広げ、子ども自らが発想し、コミュニケーション力を高め、年齢に応じた自立を目指します。

地域・学校・保護者が連携し、人と人との触れ合いが希薄になった子どもたちが、世代を超えた交流とさまざまな体験を通して、豊かな人間性を育てています。

「学童クラブ」は保護者が就労などで、留守になる家庭の児童が対象です。育成料が必要で、必ず出席日などを保護者と確認したうえで参加します。



<p>《すくすく登録》</p> <p>育成料：無料 保険料：年500円</p> <p>◆運営日◆ 日曜・祝日・年末年始 を除く毎日 (年間290日以上開設)</p> <p>◆参加時間◆</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平日 放課後～17時</li> <li>・土曜・学校休業日 9時～17時</li> </ul>	<p>◆対象◆ 区立小学校に在籍する児童、区立小学校の通学区域内に住所を有する児童 1年生から6年生まで(定員なし)</p> <p>児童にとっての自由な学び場・遊び場として自己責任で利用都合のよいときに保護者も共に参加いただき、地域の中での子育ての場の一つとして活用</p> <p>《学童クラブ登録》</p> <p>◆対象◆ 保護者の就労等によって放課後留守になる家庭の児童</p> <p>出席日など保護者と職員との間で連絡をとりあいながら参加</p> <p>育成料：月4,000円 参加時間：平日18時まで延長可</p>
--	---

### 3) まとめ

江戸川区の子どもたちの日常的な放課後の時間が、恵那市の学童クラブと同じスタイルであることに驚きました。

子育て支援策の一環として、学校と地域、行政と地域がうまく協力して、近い将来、恵那市にも「すくすくスクール」同様の施策が必要であると痛感しました。

### 3. 「産後ケア及び病院概要」

千葉県浦安市役所、東京ベイ・浦安市川医療センター

#### 1) 視察の目的

新市立恵那病院が11月21日に開院し、来春には産婦人科が開設されます。産後の育児不安解消の為に先進の産後ケアを学びました。

#### 2) 調査事項・概要

##### 浦安市

- 総人口 165,411人 (H28.4)
- 世帯数 76,713世帯 (H28.4)
- 平均年齢 40.2歳
- 高齢化率 16.07%
- 転出入が多く、若い街



視察の様子

浦安市は妊娠から出産・子育てに至る切れ目のない支援を目指しています。転出入が多い若い世代の街であるため核家族が多く、もともと住んでいた人が少いため、出産をしても身近に支援者がいない家庭の割合が70%を占めています。そのため、出産直後から生後1ヶ月に利用できるケアサービスが必要となっています。

平成26年度は「妊娠・出産包括支援モデル事業」として、産前・産後サポート事業、産後ケア事業を行っていましたが、平成27年度からは「妊娠・出産包括支援事業」として、利用者支援事業（母子保健型）、産前・産後サポート事業（パートナー型）に加えて、産後ケア事業（宿泊型・日帰り型～個別・集団タイプ）をはじめました。

産後ケア事業の目的として、社会心理的問題（核家族化・育児不安・経済的不安や子の病気等）が原因のストレス増大による、産後のうつ病発症などに対応するための母体の健康管理と、適切なサポートを行うことが重要視されています。

このことから、入院を要しない程度の体調不良や育児不安の高い産婦を対象に産後ケアサービスを提供することにより、安心して子育てできる環境を整えることを目指しています。



オリエンタルホテルの客室

産後ケアには、宿泊型と日帰り型があり、目的に応じて利用可能となっています。

今年4月からは、オリエンタルホテルの客室を使用して、助産師を派遣する日帰り型のケアもスタートしました。

## ◆ 産後ケア施設比較 ◆

### 【宿泊型】

実施場所	開始時期	対象者	利用条件	月齢	回数	人数	実施日	自己負担額
東京ベイ	平成26年10月15日	初産婦のみ	出産医療機関から直接	出産直後	1回	1人/日	無休	3,000円
順大浦安	平成28年3月	経産婦も可 (上の子どもの宿泊は不可)	自宅に戻ってからも可	生後2か月未満	6泊7日まで	3人/日		

### 【日帰り型】

実施場所	開始時期	対象者	利用条件	月齢	回数	人数	実施日	自己負担額
オリエンタルホテル	平成27年1月～3月 トライアル、 平成27年6月 本実施	経産婦も可	自宅に戻ってからも可	生後4か月未満	1回のみ	1人/日	平日のみ (火・水・木・金) 年末年始 お盆等 休み	4,000円
佐野産婦人科 (Tomoru 助産院)	平成28年7月～9月 トライアル、10月 本実施予定			生後6か月未満	7回まで	最大 6人/日	無休	1,600円

利用者からは、「初めての出産で不安でしたが、退院後も安心できます。」「助産師さんたちの声かけで安心できた。」等の反響があり、母親の健康管理と産後の精神状態が安定することにより、母子の愛着形成の促進や、安心して子育てできる環境を整えることに結びついています。

今後の課題として、①個別タイプの需要が多く、利用希望者全員が利用できない状況である。②集団タイプは前例がないため、委託料金体系や内容について検討が必要である。③家族が宿泊できない。など、利用者ニーズの把握と対応が必要になっています。

### 3) まとめ

産後ケアを行うには利用者の負担軽減のための財源確保や料金設定、助産師育成の必要性を感じました。なお、ホテルの客室を利用したサービスは浦安市ならでの取り組みでした。

安心・安全な出産と子育てができる環境づくりは重要課題であり、恵那市の実情にあった産後ケアを考えていくことが、少子化対策のひとつとして必要であると実感しました。